

TGR TEAM ZENT CERUMO

2023 AUTOBACS SUPER GT Report

SUGO GT 300km RACE

第6戦 スポーツランド SUGO

ZENT CERUMO GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆ 9月16日（土） QUALIFY

公式予選結果 5位



2023年のSUPER GTも残すところ3戦。迎えた第6戦の舞台は、宮城県のスポーツランド SUGO だ。TGR TEAM ZENT CERUMO、そして立川祐路にとっても数多くの良い思い出があるコース。ライバルたちのサクセスウエイトも重くなっており、ZENT CERUMO GR Supra にとってはチャンスでもある。立川の最後の SUGO でのレースを良い結果にすべく、チームはしっかりと準備を整え、9月16日（土）の予選日を迎えた。

前日の搬入日から雲が多く、午後には雨も降りはじめた SUGO だが、予選日朝は路面に水が残るダンプコンディション。ただ雨は降っておらず、午前9時15分から行われた公式練習の最中にコンディションがドライとなっていくことが予想された。ZENT CERUMO GR Supra は立川祐路からステアリングを握りコースインしたが、路面コンディションの良化を待ち、開始後はしばらくピット内でステイすることになった。

その後、ふたたび立川がドライブしコースインすると、18周を走り1分12秒095というタイムを記録。フィーリングも良く、細部を詰める作業を行った後、石浦宏明に交代する。ただ途中、GT300車両のクラッシュもあり赤旗中断も発生



TGR TEAM ZENT CERUMO

したことから、石浦の走行時間がかなり少ない状況となってしまった。とはいえ、ニュータイヤを履いてコースインした石浦は、少しずつ日射しも差すなか、7周を走り終盤1分11秒138までタイムアップ。ZENT CERUMO GR Supraは6番手で公式練習を終えた。

石浦はその後行われたフルコースイエロー訓練でも周回を重ね、午後の予選に向けてセットアップを進めていくことになるが、石浦の感触としてははややアンダーステアがあり、公式予選でのQ1突破、そして少しでも上位グリッドを獲得するべく、TGR TEAM ZENT CERUMOは午後へ向けさらなる調整を続けていった。



スポーツランド SUGO は午前の公式練習の後も曇り空が続いていたが、GT300 クラスの公式予選 Q1 がスタートする午後2時40分の直前、サーキットには雨が舞いはじめた。あっという間に路面はウェットコンディションに転じることになったが、GT300 クラスの Q1 のうちに少しずつコンディションは好転。ふたたびドライとなる非常に難しい状況のなか、午後3時13分からのGT500 クラスの Q1 を迎えた。



ZENT CERUMO GR Supra のアタッカーを務めた石浦は、Q1 開始後すぐにコースイン。タイヤをウォームアップさせていった。この SUGO はコース長も短いことからトラフィックも課題となるが、石浦は5周目、他車とのギャップを作りアタックを決めると、1分10秒448を記録。その時点でのトップに立ってみせた。他車のポジションアップとともに少しずつ順位は下がったが、5番手で見事 Q2 の立川祐路にバトンを繋いだ。

GT300 クラスの Q2 をはさみ午後3時51分にスタートした GT500 クラスの Q2。この頃には晴れ間も広がり、西日さす中でコースインした立川は、SUGO



TGR TEAM ZENT CERUMO

での最後の予選アタックに集中し、タイヤをウォームアップさせていくと、5周目に1分10秒510というタイムを記録。一時は4番手だったが、最終的には5番手につけQ2を締めくくった。

奇しくも第5戦鈴鹿と同じ位置からのスタートとなるが、今回は短い300km。スタート時点でしっかりと決勝レースに向けた好セットアップを作ることができていれば、表彰台、そしてその頂点を目指すことは決して不可能ではない。SUGOで立川祐路の最後の良い思い出を作るべく、チームは9月17日（日）の決勝レースに向けて一丸となって臨んでいく。

ドライバー／立川祐路

「クルマのフィーリングは比較的良い状態でしたが、それだけに今回の予選結果を見ると、トップ3台のライバルとのタイム差は少しショックでした。僕たちのクルマがまとまっているので、なおさらでしたね。とは言え、決勝ではまた選んでいるタイヤなどで条件は変わると思います。予選5番手というポジションは表彰台が見える位置でもありますし、明日までにクルマも煮詰めたいと思っています。今日の予選でのタイムでは差をつけられてしまいましたが、明日はレース後半、しっかりと勝負ができるクルマにしていければチャンスはあると思っています。頑張って表彰台に登りたいと思っています」



ドライバー／石浦宏明

「公式練習ではコンディションの変化を待っていたこともあり、かなり走行時間が少なくなっていました。コースインしてすぐに専有走行にもなってしまいましたが、そこでのニュータイヤが初めてのコースインとなりました。クルマはアンダーステア傾向だったのですが、FCY訓練なども使いながら、予選に向けて足りない部分を直していきました。Q1の直前は雨が降ったこともあり、ギリギリまで待ってドライセットに戻すなど混乱したところもありましたし、アタックのタイミングとしては難しいタイミングにもなりましたが、Q1を通過することができて良かったです。立川選手のア



TGR TEAM ZENT CERUMO

タックもアジャストした影響が出たりとロスもありましたが、今日できることとしてはそれほど悪くなかったのではないのでしょうか。今回は 300km レースでピットタイミングと決勝ペースで決まってしまう。明日に向けてしっかりとアジャストし、良いクルマを作ることができれば、この位置からなら表彰台が狙えると思います。今季まだ表彰台に登れていないので、それを目指して頑張っていきたいです」

村田淳一監督

「持ち込みセットアップから悪い状態ではなく、事前のシミュレーターやエンジニアとのミーティングなどで詰めてきたことが大きく外していなかったのも、そこから調整していきました。そのおかげもあって Q2 に進出し、5 番手という位置を得ることができました。トップ3 は少し速いですが、我々も決勝に向けたセットを煮詰めて戦えるマシンに仕上げたいですね。ここ数戦、ピットでもミスがあるので、そこも含めて明日は自分たちのレースをしっかりと戦い、5 番手から表彰台を目指していきたいと思います」



TGR TEAM ZENT CERUMO

予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q2 Time	Q1 Time
1	8	ARTA MUGEN NSX-GT	1'09.413	1'10.498
2	23	MOTUL AUTECH Z	1'09.486	1'10.164
3	17	Astemo NSX-GT	1'09.607	1'10.381
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	1'10.274	1'10.334
5	38	ZENT CERUMO GR Supra	1'10.510	1'10.448
6	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1'10.623	1'10.502
7	24	REALIZE CORPORATION ADVAN Z	1'10.727	1'10.390
8	3	Niterra MOTUL Z	1'10.735	1'10.582
9	14	ENEOS X PRIME GR Supra		1'10.613
10	100	STANLEY NSX-GT		1'10.675
11	19	WedsSport ADVAN GR Supra		1'10.789
12	36	au TOM'S GR Supra		1'10.800
13	16	ARTA MUGEN NSX-GT		1'10.804
14	1	MARELLI IMPUL Z		1'10.949
15	64	Modulo NSX-GT		1'11.241

